

令和3年度の重点課題

○ 新体力テストの総合評価(第5学年)のAB率 47.8%, DE率23.5%である。(AB+DE)率24.3%)

○ 全学年の半数以上学年の男女とも、「反復横跳び」「50m走」が県平均値かつ全国平均値より低い。

○ 男子は、「上体起こし」「20mシャトルラン」が県平均値かつ全国平均値より低い学年がある。

○ 女子は、「立ち幅跳び」が県平均値かつ全国平均値より低い学年がある。

○ 運動習慣に関するアンケートによると、運動やスポーツをすることがややきらい、きらいと答える児童の割合が男子が6.5%, 女子10.52%である。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

○ 年間を通して重点項目を「立ち幅跳び」に定め、児童に一定量の運動量を確保するとともに、体を動かす楽しさや喜びを十分に味わわせる活動を行った。

○ 1学期「ジャンピングジャック」「腕振りスクワット」2学期「縄跳びを用いた跳躍運動」3学期「立ち幅跳びの動き」をそれぞれ体育の学習導入時に準備運動として行った。

○ 体力テストの結果を分析し、学校全体に周知することにより、課題を全体で共通認識し、児童の実態を確認し取組を行った。

○ 体育委員会で「運動チャレンジ」という運動に親しみをもってもらうための啓発活動を第5学年を対象に実施した。(新型コロナウイルス予防の観点)

令和4年度新体力テストの結果(県平均値(令和3年度)・全国平均値(令和2年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	16.56	20.53	34.58	46.57	49.00	9.65	156.58	23.55	54.86	第5学年	17.01	19.61	39.77	44.42	41.80	9.63	151.61	14.19	58.34

県平均値かつ全国平均値未満

令和4年度新体力テストの結果(県平均値(令和4年度)・全国平均値(令和3年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	16.56	20.53	34.58	46.57	49.00	9.65	156.58	23.55	54.86	第5学年	17.01	19.61	39.77	44.42	41.80	9.63	151.61	14.19	58.34

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	75.47	20.75	1.89	1.89	第5学年	63.77	24.64	5.80	5.80

学校独自の意識調査

男子	好き	やや好き	ややきらい	きらい	女子	好き	やや好き	ややきらい	きらい
第1学年	76.36	20.00	1.82	1.82	第1学年	69.44	22.22	8.33	0.00
第2学年	76.19	15.87	7.94	0.00	第2学年	69.81	26.42	1.89	1.89
第3学年	80.88	16.18	2.94	0.00	第3学年	63.06	33.85	3.08	0.00
第4学年	65.45	20.00	10.91	3.64	第4学年	56.25	26.56	7.81	9.38
第5学年	75.47	20.75	1.89	1.89	第5学年	63.77	24.64	5.80	5.80
第6学年	62.80	24.18	6.45	4.84	第6学年	57.89	24.56	10.53	7.02

重点課題

情意面での課題

- 男子(第5学年)
 - ・運動やスポーツをすることがややきらい、きらいと答える児童の割合が3.78%(2名)である。(前年比2.72%↓)
- 女子(第5学年)
 - ・運動やスポーツをすることがややきらい、きらいと答える児童の割合が11.6%(8名)である。(前年比1.08%↑)
- 全体
 - ・ややきらい、きらいと答える女子の割合が男子の割合よりも多い学年がほとんどである。

体力面での課題

- 男子(第5学年)
 - ・「20mシャトルラン」「50m走」において、県平均値かつ全国平均値より低い。
- 女子(第5学年)
 - ・「50m走」「ボール投げ」において、県平均値かつ全国平均値より低い。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

・体育科においては、児童に一定量の運動量を確保するとともに、体を動かす楽しさや喜びを十分に味わわせることができるよう、教職員が共通意識をもって授業改善に努める。

・年間を通して重点項目を「立ち幅跳び」に定め、「腕ふりスクワット」を体育学習の導入時に準備運動として行う取組を年間を通して継続的に行う。

体育の授業以外で行う取組内容

・体力テストの結果を分析することで、課題を理解し、児童の実態に応じた取組を継続していく。

・体育委員会で「運動チャレンジ」という運動に親しみをもってもらうための啓発活動を全校児童を対象に実施する。

令和5年度の重点目標値

- 体力向上を目指している児童(以下の2つの項目で両方とも肯定的に答える)を50%以上にする。
- ・運動やスポーツをすることが好き、やや好きと答える児童
- ・体育の時間等で自分の目標をもって取り組んでいる児童